

03

学習の森再生プロジェクト

うつべひがし
四日市市立内部東小学校



森のせんせいによる危険動植物の説明



学習の森へ移動



学習の森で自由観察



森のせんせいによる指導



丸太切体験



丸太切体験

ねらい

- ・学校林の「学習の森」をもう一度自分たちが遊んで学習できる森に再生するためにできる事は何かを考え、行動することができるようにする

取組内容

「学習の森」の再生に取り組む前に、まず、子どもたちが現況を知るため、森のせんせいが事前に調査して分かったことを概況として話をしました。内容は、ヤマウルシなどのかぶれる木やスズメバチなどの危険な動物の話や、森に入るための注意喚起を行いました。次に、「学習の森」の成り立ちの解説をするとともに、樹木の名前の由来や特徴など森や樹木に関心を抱かせる内容の話をしました。

続いて、「学習の森」での観察は、3クラスが時限を分け1限ずつ行いました。行動は、5人から6人の班に分かれてタブレットを持っての動植物観察、ノコギリで丸太を切る体験など子どもたちがそれぞれ興味のある活動に分れて実施しました。子どもたちは、それぞれ興味の違いがでる特徴がみられました。

この活動は、「学習の森」の再生の第一歩となりました。

内容	森・樹木の話、学習の森の散策体験
時間	1時間30分(総合的な学習の時間)
場所	体育館、学習の森
対象	6年生3クラス91人
講師	森のせんせい：出口省吾氏
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

【先生のコメント】 学校の敷地内にあるにもかかわらず、危険であるという理由から入れなかった学習の森に入った子どもたちは、「自分たちの近くにこんなにも素敵な森があるということを知らなかった。」「もっといろんな人にこの森のことを知ってもらいたい。」という思いをもつことができました。また、学習の森に生育している植物についても教えてもらうことができ、子どもたちにとって貴重な体験の場となりました。